

公表

事業所における自己評価結果

放課後等デイサービス

事業所名	こどもケアセンターほっと大田 (びゅん)		公表日		2026年3月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		たくさん動きたいお子さん、ゆっくり活動したいお子さんなど活動内容によってに分けて活動することがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		日によって欠勤が出ることもあるため、支援員の人数が少なく感じることがありますが、基準人員の配置は行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1		年齢もバラバラなお子さんたちが通所しており、1人1人に合った環境設定は行っていないことが課題です。同じ学校同士のお子さんの通所の設定など工夫してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		清掃は毎日行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	安全を考慮しながら、使用できる部屋を準備しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	正規職員だけでなく、非常勤職員も一緒に考え業務改善に取り組んでいます。	勤務日数の差により、担当する業務も変わるため、個々に応じた業務を行い業務改善に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		アンケート結果を会議等でお伝えしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		外部評価は受けておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	研修案内は支援者全員にメールでお知らせしています。特に参加してほしい方などには直接声をかけ、勤務調整も行います。	案内に気づかない方もいるため、事務所の壁に掲示するなどの工夫が必要と考えます。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページに公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		半年ごとに面談を行い、複数名で評価を行い次の目標を検討しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	お子さんを主に担当する支援者とともに作成を行っています。	主担当を中心に策定していますが、情報の多角的な共有を図り、全スタッフが共通認識を持って支援にあたる体制を強化してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		まだ数名ですが、計画から更に、お子さん本人がワクワクするような活動計画を検討しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		主に担当する支援者とともに、日々の成長や行動の変化を観察し、活動や計画に盛り込んでおります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1	必要な項目に沿って、計画立案を行っております。	支援者全体に共有できていないという課題があります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	活動を中心に考える支援者、個々の利用者の活動内容を具体的に検討するなど、事業所全体で取り組んでおります。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		季節の行事など盛り込みながら、日々の活動を検討しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		朝ミーティングを行い、支援を行っています。ミーティングに参加できない方は、ミーティング時の記録やLINE WORKSを使用し共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		送迎等の時間帯により対面での全員参加が困難な場合もありますが、LINE WORKS等のICTツールを最大限活用し、全スタッフへ支援内容を共有・継承しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		LINE WORKSを使用して、お子さんたちの成長や、支援内容の共有、検討を行い日々の支援に生かしています。	お子さんについて話し合いを行った際は記録を残して、共有できるようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1	2	「自立支援活動」「生活能力向上活動」「創作・表現活動」「地域交流活動」をお子さんそれぞれに合わせて実施しています。	地域交流活動を行うことが課題です。次年度は、地域のイベント参加を検討しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	1	お子さん1人1人の表現方法を、支援者が把握し支援にあたっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	主に管理者が参加をして、支援者には情報を共有しています。	通所時間帯での会議が多く、支援者が参加することが難しい現状があります。早めのスケジュール調整など調整していきたいと思っております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2	適宜、連携をとっております。	地域の障害福祉や教育との連携は不十分で課題となっております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	学校との調整は、管理者が主に行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		法人内の通所から継続して通所している方が多いため、成長を共有することはあります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		該当者がおりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		地域センターからの研修案内は随時共有しています。今後は事業所全体としての専門性向上を目指し、スーパーバイズの受入れ体制を検討してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		現在は近隣イベントへの参加に留まっていますが、お子さまの社会参加の幅を広げるため、地域の児童館等との新たな連携先を模索してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		現状は参加できておりません。大田区内の協議会の内容の情報収集を行っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時にお話しさせていただいております。送迎添乗を固定化しすぎないように、適宜管理者も何うなど工夫してまいります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		研修の機会は設けておりません。個々の抱える難しさなど個別に対応しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	変更時にお伝えしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1	ご家族だけでなく、お子さんと1対1で話ができる時間を個々に設けるようにしております。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	1	作成時にお話しして同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	お子さんの成長とともに喜び合いながら、これからの課題や困難さを一緒に考えています。	今後も定期的な面談を通じ、ご家庭の不安を一つひとつ解消できるよう、対話を重視した支援を継続します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	イベント時に仲介役で職員が入ったり、利用者同士が仲良しの親御さん同士を紹介したりしております。	きょうだい児支援ができていないことは課題と感じております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1		管理者が責任を持って対応していますが、窓口の透明性を高めるため、改めて全保護者様へ相談・苦情受付体制の再周知を徹底いたします。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		不定期ですが、LINE WORKSでぼわぼわを発行させていただいております。毎回9割の方が閲覧してくださっています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	1		職員全体が十分留意していると言えるように、教育を行ってまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		学区の中学校から吹奏楽の演奏や、町内会の獅子舞が訪問に来てくれました。次年度は、ハロウィンへの参加を検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	訓練はそれぞれ担当職員が中心となって、定期的実施しております。	マニュアルは作成して、自由に閲覧できる状況になっております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	作成し、訓練担当者とともに実施しております。	出勤日数の少ない職員の参加回数が少ないことが課題です。報告書の確認などで、状況把握は行ってもらっています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	1	看護師を中心に、LINE WORKSを使用して新しい情報も共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	行っております。緊急薬の場所の確認も、行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	計画をもとに訓練等の実施を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		訓練等の周知は行っておりますが、計画内容の周知まではできていないため課題となっております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	LINE WORKSを使用し共有を行っております。再発防止策は、事業所全体で検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	東京都の研修に参加した支援者から伝達講習や資料の共有を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			